

## 研究概要

### 1. 研究名称 または課題名テーマ等

3 DCT を用いた L5/S1 腰椎椎間板ヘルニアに対するヘルニコア投与の検証

### 2. 研究責任者(当院)

所属：整形外科

氏名：清水文也

#### 共同研究の場合は代表機関 及び 代表者名

機関名：聖隷佐倉市民病院

代表名：小谷俊明

### 3. 分担研究者

所属：聖隷佐倉市民病院

氏名：小谷俊明

### 4. 研究対象者

2020 年 1 月から 2024 年 12 月までの間に、腰椎椎間板ヘルニアと診断され、手術またはヘルニコア（コンドリナーゼ）治療を受けた患者。

### 5. 研究の必要性

当院では腰椎椎間板ヘルニアに対する治療の 1 つとしてヘルニコアの投与を行っている。L5/S1 椎間板は腸骨稜や横突起などの骨性構造により、適切な部位への穿刺が困難である場合がしばしばある。また、穿刺ルートは L5 神経根に近接しているため、処置中に放散痛が生じ、患者に苦痛を与える可能性がある。L5/S1 椎間板中央部への適切かつ安全な穿刺を実現するための具体的な穿刺角度や刺入位置について詳細に検討した研究は少ない。今回は 3 DCT を用いて L5/S1 椎間板中央部へ適切にヘルニコアを投与するための穿刺角度および刺入位置について 3 DCT を用いた解析する。

### 6. 研究等によって生ずる個人への影響と医学上の貢献の予測

ヘルニコア治療の治療効果を高める

処置の際の神経穿刺などの副作用リスクの低減

### 7. 対象者、関係者等からの問合せ先(当院)

連絡先番号：043-486-1151

担当者氏名：小谷俊明

対応時間：8:30-17:00（平日）

2.